

## 4 2日目のワークショップ

### (1) 内容

1日目は、4パターンの主人公になりきってグループごとに理想の複合施設を考えていただきました。2日目は、神奈川県川崎市が製作した施設未来体験ゲーム「カワタン」を1日目の主人公の立場で体験してもらいました。

#### 1日目の復習

～各グループの主な共通点～

- ・放課後の居場所（学童クラブ）の複合化
- ・喫茶店、コンビニ、スーパー、病院の複合化

～発表のときに出た主な考え～

- ・学校の授業で活用するだけでなく、部活動といった枠を超えて放課後の活動を充実させる、学校生活をより充実させていく
- ・マルシェ、農産物直売所があれば、そこでは異世代交流が盛んになる。
- ・地産地消が進み、地域を拠点に産業が活性化になる。
- ・いくら充実した施設でも、高校生は公共施設を使わないかもしれない。

#### カワタンとは…

架空のまち「カワサキタウン（通称カワタン）」において、限られた予算の中で、公共施設を“ムダなく活用”すること、まちをより良く“マネジメント”することをチームで目指すゲームです。

ゲームは10年後、20年後、30年後の3ターン制で進みます。

1ターン毎に人口減少、財政の健全化のため経費削減等に対応するミッションが発生し、課題解決カードの活用や、公共施設のサービスを最適化したりすることでクリアを目指します。

### (2) ワークショップの様子

市職員からカワタンで使用するカードやコマを説明してからゲームをスタートしました。

社会構造の変化（高齢者世代の増加、子育て世代の減少など）や施設の維持管理費の増額などの課題に対応し、ミッションをクリアするため、各ターンで使える「課題解決カード」を活用するほか、施設の機能の取舍選択や、施設の在り方を検討しながら進めていきました。



20年後のミッション終了後、各班の状況を互いに見て回りましたが、財政状況に余裕のある班、機能を集約している班など、班によって重視する点が異なっていることが分かりました。

最後のターンである30年後のミッションは、「災害によって小学校が使用不可になる」という設定からスタートします。さらに老朽化施設には維持管理費が追加になり、財政的に厳しい状態に陥るほか、高齢化率も上がり、今までの施設の中身を再検討する必要性も出てきます。このことから、各班で試行錯誤しながら最終的な街の姿を描きました。

すべてのターンが終了し、各班の振り返りを含めた発表を行いました。それぞれ各班のテーブルに集まり、質疑応答をしながら、自分の班のまちと見比べていました。その後、「どの街が良いと思ったか」1人2つコインを持ち、良かったと思う班にコインを投票していきます。結果はA班が最もコイン数が多く、今回の参加者から評価の高いまちづくりとなりました。しかし、どの班も様々な考えを反映させた未来のまちづくりを、「カワタン」を通して行うことができました。



## ● ファシリテーターから2日目の講評と今後に向けて

グループで重視したポイントがそれぞれ異なっていたようです。高齢者の居場所を何とかしようとするグループ、施設の数には絞らず余裕をもたせようとしたグループ、また世代ごとに居場所を区分けするグループがあった一方、あえて混ぜ込むグループもありました。カワタンで点数を出しましたが、点数が高いほうがパーフェクトとは限りません。

皆さんの名札にある、1日目のペルソナを見ていただいて、今回、自分がどの立場で考えたでしょうか。自分が高校生だった、主婦だったと思い出して、その立場で出来上がったまちを見たときにどうでしょうか。全体としては良かったかもしれないけれど、「私（ペルソナ）」がここで暮らすことを前提に見直してもらおうと、また違った感想が出てくるかもしれません。

皆さんの今日の話合いの様子を見ると、公共の福祉のことを一生懸命考えて、どうやったらまち「全体」がよくなるか調整してくださったと感じました。それは市役所の立場に近い視点です。しかし、一市民の立場としては、やはり「私としてはここに施設があったら良い」、逆に「ここにあると困る」という声はどうしても出てくると思います。個人の考えを取っ払って「みんなのために」と考えられれば素晴らしいことですが、色々な人の色々な意見を取り入れ、かつ、この施設がボロボロだから災害でダメージを受けた、でもお金はどうしよう・・・とならないように長期的に考えていく、というのがこれからの公共施設の扱い方だと思います。

福生市でもすぐに「〇〇小学校を複合化するための検討を具体的に始めます」という状況ではなく、具体的になっていくまでに数年かかります。だからこそ行政としては新しい情報をすぐ出せるわけではなく、あまり進んでいないという印象も持たれがちかもしれません。

しかし、「だから放っておいてもいい」ということではないと思います。行政としてはその都度出せる情報は出していこうという姿勢があるし、地域懇談会のように色々な声を聞く機会を持っています。

これから計画していく、あるいは日々学校に関わっていく中で色々な気付きや思い付くことがあると思います。その都度どんどん色々な声を伝えてください。ゆくゆく、正式に「この施設についてどうしていきましょうか」と進んでいくときには、パブリックコメントといってインターネット上やお手紙で意見を表明できる機会も必ず出てきますから、そういったタイミングを逃さずにいろんなコメントを出していただきたい。そのときはご自身の立場を大事にしてほしいです。我々の子ども世代に、「福生で子育てしていくって良いよね」と思ってもらえるようなまちを作っていけたらと思うので、そのためにどういう施設、場が必要かということはずっと考え続けていきたいし、みなさんにも考え続けていかないといけないという思いを共有していただきたい、ということが私からのお願いになります。

今回の楽しい議論が未来につながっていければ、よりよい福生になっていくと思いますので引き続き見守っていただければと思います。